

令和8年度 タンブリング・とび箱 採点規則

1. 採点の方針

この種目は初心者向けとし、減点項目にばかり目を向けることなく  
選手の演技への思いを鑑み評価を行う。

2. 適用競技会

相模原市民選手権大会

3. 演技の採点

<タンブリング>

要素3. 0 (6技×0.5) +実施6. 0 +加点1. 0 **合計10. 0満点**

※加点は、美しさ・雄大さ・柔軟性・表現力等を考慮する。

要素 (下記要素1つにつき、0.5点)

前方系 前転・開脚前転・伸膝前転・倒立前転・前方ブリッチ・転回・前宙

後方系 後転・開脚後転・伸膝後転・後転倒立・後方ブリッチ・バク転・後宙

側方系+支持系 側転・ロンダード・しんぴ倒立・マンナ

柔軟性 左右開脚座・前後開脚座・ブリッチ

※同一技は、2回まで認められる。

※上記にない技も合理性のある技は、認める。

※できる限りバランスのよい演技構成を組むよう努力すること。

その他

- ・タンブリングの演技面は、12mを基準とするが主催者の準備する器具を使用する。
- ・片道でも往復でもどちらでもよい。
- ・方向転換の方法は自由とする。

<とび箱>

すべての跳び方の基礎点を9. 5とする。

加点 0. 5

**合計10. 0満点**

※加点は、美しさ・着地の安定性・スピードのある助走・雄大性等を考慮する。

その他

- ・とび箱の向き・高さは自由とする。
- ・8段ー約100cm (長さ80cm×幅35cm) を設置する。
- ・踏切板は、ロイター式を使用。
- ・着地用のソフトマットの使用は認める。

<減点基準>

- ・姿勢の欠点・転倒・停滞→0.1・0.2・0.3
- ・補助による減点→0.1・0.2・0.3
- ・タンブリングの演技時間は、50秒を基準とするが、超えた場合の減点はない。